

全建発第29～180号
平成29年 9月15日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第637回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性向上）など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第637回建設技術講習会では、災害時における体制の充実強化（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体の取り組み事例）などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第637回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成29年11月15日(水)～17日(金)、甲府市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、災害時における体制の充実強化（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組み（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体の取り組み事例）について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は山梨県・甲府市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
山梨県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
山梨県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満の正会員及び地元割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,300円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「637」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成29年10月27日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成29年11月2日(木)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成29年11月10日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」(予定)の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8.5単位/3.25単位、CPDS：(未定)/3ユニット

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

第637回建設技術講習会(災害に強い安全な国土づくり) 日程 ～激化する気象災害、切迫する巨大地震への対応について最新の施策及び取り組み事例を学ぶ～

- ・災害時における体制の充実強化について(被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等)
- ・自然災害(水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等)に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて(各地で取り組んでいる自然災害対策の具体的な取り組み事例)

会場 …… コラニー文化ホール[県民文化ホール](小ホール)
〒400-0033 甲府市寿町26-1 TEL055-228-9131(代)

(1日目) 開場11:40	平成29年11月15日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	山梨県知事 甲府市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	後藤 藤 斎 樋口 雄 一 秋山 幸 男
13:00 } 激甚化する災害への備えについて 14:00	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	林 雄一郎
14:10 } 平成28年熊本地震における対応について 15:10 } ～震災直後の初動対応など～	熊本県土木部河川港湾局河川課 審議員	中山 義 晴
15:20 } 【地元自治体の取り組み】 山梨県における自然災害への備え 16:00 } ～災害時の対応への人材育成や技術の伝承～	山梨県県土整備部砂防課 課長補佐	望月 紀 昌
16:10 } 【地域事業の紹介①】 信玄堤 16:40 } ～富士川沿いに残される歴史的治水施設～	南アルプス市教育委員会文化財課 主幹	田中 大 輔
16:40 } 【地域事業の紹介②】 中部横断自動車道建設事業について 17:10	国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所 事業対策官	小池 信 一
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (18:00～19:30(予定))		
コットンクラブ(コリド桜町通り) TEL055-233-0008		
(2日目) 開場 9:00	11月16日(木)	(敬称略)
9:40 } 大規模地震災害に備えた災害対応体制の充実強化 10:40	国土交通省水管理・国土保全局防災課 防災企画官	田中 克 直
10:50 } 近年の河川管理施設の被害と復旧について 11:50 } ～平成29年7月九州北部豪雨など近年頻発する洪水被害～	国土交通省水管理・国土保全局治水課 流域減災室 室長	矢崎 剛 吉
13:00 } 昨年度水害を踏まえたソフト対策について 14:00	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 水防企画室 室長	西澤 賢太郎
14:10 } 南海トラフ巨大地震、首都直下地震への対策について 15:10 } ～国土交通省における取り組み状況～	国土交通省水管理・国土保全局防災課 大規模地震対策推進室 室長	川村 謙 一
15:20 } 大規模土砂災害対策について 16:20	国土交通省水管理・国土保全局砂防計画課 砂防計画調整官	草野 慎 一
16:20 } 閉会のあいさつ	山梨県建設技術協会長 (山梨県県土整備部 理事)	水上 文 明
(3日目) 集合 7:50～	11月17日(金) 【現場研修】	

JR甲府駅南口(8:20) 出発

- 歴史的治水施設群(信玄堤・石積出し)(下車説明)
- 中部横断自動車道建設工事(下部温泉早川IC付近)(下車説明) → 昼食(鳴沢村内)
- 西湖いやしの里根場(足和田災害)(下車説明) → JR甲府駅(15:45)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建:8.5単位/3.25単位、CPDS:(未定)/3.1単位

第637回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 歴史的治水施設群（信玄堤・石積出・六科将棋頭）…………… 山梨県南アルプス市

山梨県は四方を高山に囲まれたその地形上の特質から、治水が国を治める者の大きな課題でした。甲斐の治水を大きく前進させたのは、戦国武将武田信玄です。なかでも信玄が構築した「信玄堤」は、完成後400年以上たった現在でも治水機能を果たしている代表的な事業です。

甲府盆地中央部を流れていた釜無川は、大雨が降ると甲府盆地の大半が家屋や田畑が流されるなど甚大な被害にあっていたことから、強固な堤防を構築することが必要で、釜無川が甲府盆地へ流れ込む西端であった赤坂台地麓の地に堤防を構築するよう命じたといわれます。

また、御勅使川旧堤防（将棋頭・石積出）は、信玄堤とともに武田信玄によって御勅使川・釜無川を治めるために築かれたと伝えられており、近世・近代には御勅使川扇状地上の集落や耕地を守る治水・利水の施設として機能した堤防施設です。

- ・「信玄堤」は、永禄3年（1560）頃、武田信玄が構築した堤防で、急流河川である釜無川と御勅使川の氾濫から甲府盆地を守る役割を果たしました。現在の信玄堤には、これも信玄考案と伝えられる木製の「聖牛」が設置され、伝統的治水技法が活かされています。
- ・「石積出」は一番堤から五番堤まで残されています。江戸時代には有野集落や水田、さらに下流にある21ヶ村を守る役割を果たしていました。
- ・「将棋頭」は、徳島堰から取水し、後田堰を通して将棋頭内に作られた六科の水田や集落、さらに野牛島、上高砂の水田、集落をも守る役割を担いました。現在は北側のみ残されています。



信玄堤



石積出



将棋頭

2. 中部横断自動車道整備事業（下部温泉早川IC付近）…………… 山梨県南巨摩郡身延町

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を經由して長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

中部横断自動車道の整備により、新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道が接続され、日本海及び太平洋の臨海地域と山梨県・長野県との連携・交流を促進するとともに、周辺地域における生活、産業、観光面の活性化、異常気象時の交通寸断の改善、地震災害時の緊急輸送路の機能向上、高次医療施設への迅速な移動が可能となるなど、様々な効果が期待されます。

増穂IC以南については、有料道路方式と直轄高速方式による同時並行で整備が行われており、基本計画区間である山梨県北杜市～長野県佐久穂町間については、事業化に向け環境アセスメントの手続きを進めていく予定です。



3. 足和田災害（西湖いやしの里根場）…………… 山梨県南都留郡富士河口湖町西湖根場

足和田災害は、その当時「山津波」や「鉄砲水」などと言われていた土砂災害が「土石流」という学術用語になった災害であり、「土石流危険渓流」の調査が全国で行われた契機となった災害でした。富士山北麓に位置する旧足和田村（現在の富士河口湖町）の西湖湖畔の根場地区、西湖地区が昭和41年9月25日の台風26号の豪雨により発生した土石流により、両地区とも壊滅的な被害を受け、残された住民は集落ごと住み慣れた土地を離れ集団移転となりました。根場地区では死者・行方不明者63名、西湖地区では死者31名と大きな災害となりました。

現在の根場地区には、富士河口湖町において、災害前の茅葺き屋根の風景を再現した「西湖いやしの里根場」が整備され、多くの観光客が訪れています。



第637回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には甲府市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%
無料	宿泊代金の20%		

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成29年11月14日(火), 15日(水), 16日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

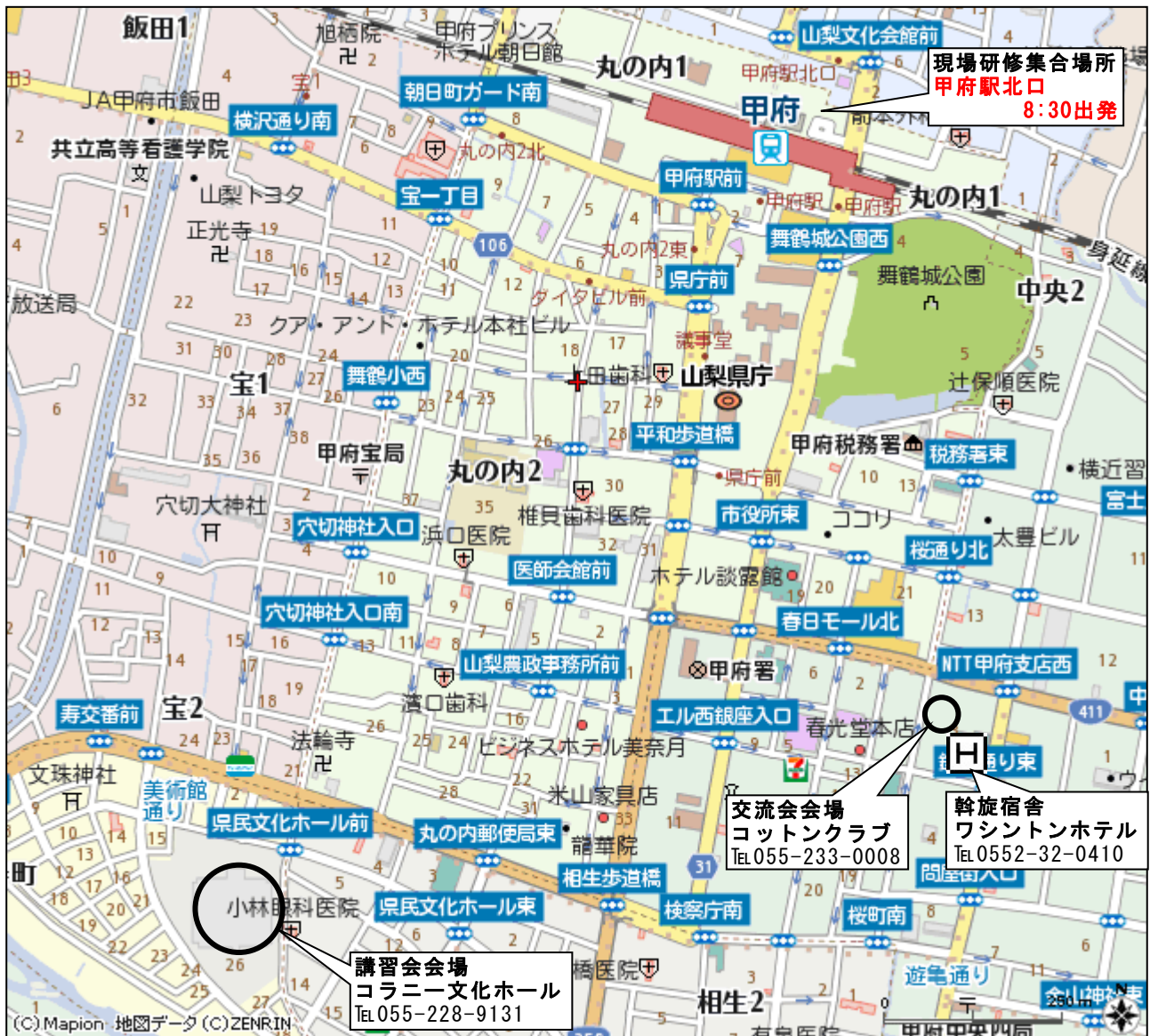
宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
甲府ワシントンホテルプラザ 甲府市中央4-3-5 TEL0552-32-0410	シングル	40名	6,000円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第637回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成29年11月15日(水) 18:00～19:30(予定)
(第637回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：「コットンクラブ」(予定)

※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。

※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|------------------------------|----------|
| ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官 | 林 雄一郎 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局防災課 防災企画官 | 田中 克直 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局治水課流域減災室 室長 | 矢崎 剛吉 講師 |
| ・熊本県土木部河川港湾局河川課 審議員 | 中山 義晴 講師 |
| ・山梨県県土整備部砂防課 課長補佐 | 望月 紀昌 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第637回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
							11月 14日	15日	16日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)						現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※	宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。			
現場研修料 名×7,300円＝ 円										
計 円										

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。